

# 寺報

龍正寺

日なた 73号

一口法話

小さな灯りが  
大きな灯りと

なる

日廷



<平成26年6月>

宝龍会  
護持会

# 子供の日祈禱会 開催しました

日蓮宗 宝雲山龍正寺(岐阜市)

平成26年5月5日

お母さんと一緒に  
大太鼓を叩いたよ



皆と一緒にハンドベルの演奏

ハイ!ポーズ!!



太鼓の叩き方  
教えてもらったよ

手遊びも  
楽しかったよ



お題目石に願い事を  
書いて...



紙芝居「大切な友達」



大きな折り紙で  
カブトを折って...

「子供の日祈禱会」

今年は例年になく肌寒さを感じる子供の日となりました。

初めは神妙な顔つきの子供達も法要が終わり御住職からお供え菓子袋を頂くと笑顔で大喜びでした。

今年のお楽しみサプライズは「お遊戯 紙芝居 踊り ハンドベル」

大人も子供も一緒になって大田かぶの楽しい時間を過ごしました。

子供達が一年間どうか健やかであれ幸多かれと参加者全員の願いをこめて、南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經とお寺の中にお題目かぶひさめたました。

# 第52回 全国青年僧 中部結集岐阜大会の様子



五月雨の中、青年僧の皆様の勇ましい御題目がこの岐阜の町中で響き渡りました。

岐阜で初めての行脚に檀信徒のみならず、多くの皆さんが耳を傾け足を止め、青年会の方々に感動しエールを送られていました。

260人の青年会の方々の御題目に涙が溢れ出し、心が浄化されました。

【岐阜グランドホテル】

【目録】

5月15日(木)

- 12:30 開会式
- 13:30 開会式
- 14:00 開会式
- 15:00 開会式
- 16:00 開会式
- 18:30 開会式
- 18:30 開会式

5月16日(金)

- 9:30 開会式
- 11:45 開会式

天下歩

## 往職の一言

早いのですね、今年もはや半年がたちました。

暑、気節になりました、熱中症になりやすい時期です、水分と普段より多めにとって下さい。

6月は永無月と申します。日本人の常識、200を讀んでみますと、こんな事が書いてありました。

田んぼの一番草、二番草を取り終えて稲作の大切な仕事はきろんとやったという、「皆、し尽き」がつかって、「皆尽き」になったという説や、永無月の「無」を「の」という意味に捉えて「永の月」という説などがあります。田んぼも一段落の月とも言われていきます。

さて稲は田んぼに植られる時は、2、3本小さな苗ですが、秋の実りの時は、10本以上の束になってたくさんの米が出来ます。

「実れば、実るほど頸をさげる稲穂かな」という言葉があります。

永無月から稲の話になりましたが、私たちの人生も

色々とお繰返しながら、毎日を送っています。

繰返しながらも、自分自身が実は「稻穂」の如くなるのではないのでしょうか。

「小さな灯りが、大きな灯りとなる」

常に努力し、自分の目の前にある全ての物に感謝する、心が大切かと思います。

合掌

南無妙法蓮華経。

# 拘泥 (こたわり)

訪問介護の仕事をしてますと、御利用者の生活習慣にとまどう事がよくあります。

それは その方の人生でありますから、決して否定するものではありません。

ただ……。その習慣は、こたわりがもたらしたものが多く思われます。

以前、ある御利用者の方が、体調に急変があり、救急車を手配し、救急車に乗る時に、頑なに乗られませんでした。それは、外出着にきがえていないので乗れないと言われたのです。体調は緊急を用する状態で、着がえなどできる余裕はありません。

しかし、その方は頑なに、外出着の着がえにこたわれたのです。

「こたわり」を辞書で調べますと……。\* 気にしなくてもよい些細な事にとらわれている。\* 「こたわり」=「<sup>こうでい</sup>拘泥」小さな事に執着して融通がきかない事…。

若い頃はこたわりかが自分の中にあっても、自己満足にみたされ喜びを感じることでしょう。

しかし、形あるものはいつか変化します。人の体も年齢を重ねるたび変化します。

私自身も50才を過ぎてもうからは、老眼で不自由しています。

若い頃とは違い、心はあせれども体は、スムーズな動作か  
できない時もある様になりました。

この頃は その事柄を素直に、柔軟に受け取める大きな心  
が必要に思うのです。それは「楽」になり、「執着」を離れる事です。

今の状態を、そのままを受け入れる事で、その状態の中で、今自分の  
出来る事に、喜びを感じる事だと思ふのです。

それは、「釋尊のお教え」ではないでしょうか？

「こだわり」は命にかかわるような事柄は少ない様に思ひます。

それは、あくまで自分の中での自己満足が多かったと思ふのです。

今年初め頃、上映された「ブッタ2」手塚治虫のブッタ=終わりな  
き旅= の中で、「私は「中道」を歩みます。」とシッターの  
言葉を思い出されます。何かにこだわりすぎない事、それは物事に  
執着しない事の様に思えるのです。

人生を歩む時、これからの人生を楽しくまとうする為にとても大切  
な事です。そのような事を、今仕事の中で通感しています。

皆様はどうですか？自らを自分で苦しめてはいませんか？

釋尊様、日蓮様は人生の中道への勇気と希望を、導いて  
下さいます。

心からの御題目を唱えてみませんか。こだわりで苦しむ事の  
ない、楽しい人生を過ごしましょう。

# 🌸 しまっこり 🌸

6月に入り暑い日が多くなりましたね。。  
水分量に気をつけて過ごして下さいね😊  
一番下の娘が4年生になり初めて出会う  
クラスメート達にすごく嬉しい事を言ってもらったあ〜と嬉しい笑顔全開で帰ってきました。アレルギーがある為、食べられる給食は限られているのですが、その日に余った給食を先生から今日はじゃんけんをするのではなく家の娘にあげてもいいですか？皆さんはいつもじゃんけんで家の娘が食べられない給食をもらっていますよね。。。今日は家の娘が唯一食べられる給食なんです。」と話をして下さい、クラスメートから「どーぞ。どーぞ」と言ってもらえた事で涙が出ちゃった〜と嬉しい😊気持ち全開で話してくれました。



聞きながら私も熱いものが込み上げて  
きました。普段は食べたいのに食べられ  
ない悔しさや悲しさがこの時にスーと  
抜けたようでした。2個も食べられた満  
足感と先生が自分の内面の気持ちを見  
てくれた事、みんなの優しさで2倍  
も3倍もおいしかったようです。

病気は確かに大変だし辛い事もあり  
ますが人の優しさを肌で感じられる  
事も沢山ありますね。普段の生活の中  
でバカスーとなるような事を感じさせ  
てもらえた事、人として大切な事を娘  
は経験する事ができた事、親としてとて  
もありがたく思いました。

ほっ、こりバカさせてもらえ、心から笑顔  
を見せてくれた娘に一つ教えてもらい  
ました。

## 仕事を通して

疑いを強くして答をかまうべし ... 日蓮上人のお言葉

教えられたことを、深く掘り下げることなく、そのまま受け入れていると表面だけの理解にとどまってしまう。

物事を掘り下げするには、教えられたことに対して疑問や疑いを持つようにすることです。「なぜ? どうして?」「本当だろうか?」という疑問は、答えを知りたいという強い気持ちを引き起こします。その気持ちがさらなる学びや深い思索、実践を生み出します。そして答えは再び疑問を生み出し、理解がますます深まっていくのです。

私は今、仕事で新人を教えています。新人は上記の心がいっぱいある子でいろいろ質問してきます。

私は、質問されても答えられない事が多く、私の覚えてきたことは表面だけの理解だけだったんだと、痛切に感じました。

今は、少しでも理解を深めるため、新人とともに、仕事のふりかえりをしています。

この文章を書いていくうちに、思いました。お経をそのまま読むだけでとどまるか、この言葉はどのような内容、意味なのだろうかと思うことで、思索、実践が違っていくことを...



# 自分の居場所



早いもので、今年も半分近くが過ぎましたね。

もうすぐには、夏も本番になります。熱中症等には

気を付けたいものですね。車に乗った瞬間の

モワッとした暑さには毎年悩まされています。体調

管理などには気を付けたい時期ですね。

先月、夕方普段の疲れもあり、ちょっとした事がきっかけ

で、仕事中、腰を痛めてしまいました。自分の中では

次の日には治るだろうと簡単に考えていたが、

娘が家族の皆に私が腰を痛めた話をしてくれたり、

主人が病院に直ぐに連れて行ってくれたり、お姑さんが、

家事を全て受け入れてくれたり、皆の素早い行動が本当に

有り難く嬉しかったです。結果的に、早めに病院に

行った事も正解で治りちの早さも全然違、仕事場にも

迷惑がける事なく、復帰できて本当に良かったです。

以前の自分は体調が悪くても変に遠慮して上手く

伝えられず、結果、周りに迷惑をかけてしまう... そんな  
自分にイライラしていました。でも、今回の事で、甘える時は  
変に遠慮するのではなく、気持ちよくお願いする事も大切  
な事だと気が付きました。

きちんと受け入れてくれる家族がいる事、甘えられる場所  
があると私自身が求めていたものかもしれません。

結婚して今年、6月で16年。沢山色々な事がありましたか  
やっぱり今は本当に感謝の気持ちがたくさんあります。

生まれ育った環境も違う他人同士が1つ、家で生活する  
事は大変な事かもしれません。でもお互いに言葉の合  
ながら助け合い、居心地の良い場所になっていけたら  
本当に幸せですね♡

たくさん喧嘩もしていいと思います。でも仲直りは早めに  
ね😊😊 これが我が家の鉄則です。

大変な時、体調が悪い時はお互い様でいいんだよと  
お姑様に言われた時は ちょっとウレウレしてしまいました。

本当は甘えたかったのかもしれませんね。あまリカを入れず  
自然体でいたいんです。やっと自分の居場所を見つけた気が  
しました。 皆に感謝です♡

# 大切なこと - 気がよ -

「面と向かって言う…」 皆さんはこの言葉を聞いて、どんな様子を想像しますか？

「直接顔を見て話す」という様子ですが、最近の若者の間ではメールのやり取りであってもこの言葉が使われていると聞き驚きました。

携帯電話やIT機器の普及で世の中大変便利になりましたが、一方で大切なものが失われつつあるような気がしています。

今日会っていた相手なのに、明日の約束をメールでする… 先の事を考えて動く人間の知恵が、何とかなると過ぎてしまっていくようで危機感を感じます。今日、会った時に約束して帰れば、メールなんて必要ないですよね？

家族団らんの時間でも携帯片手に… 年齢が上がるにつれて、家族との時間も少なくなっていくのに、ますます会話が少なくなっていくようで淋しいですね。無関心にも繋がる気がします。

公園でゲーム… 遊具を陣取ってゲームをする子もい

て、他の子の迷惑にも気づかない。一本を動かす事も減、  
てしまい。昔に比べて身体能力も低下してきているそうで  
す。

手紙も少なくなりましたね... 相手に伝えるという点では  
メールと同じですが、温かさや違うというか...♡ 同じ内容  
を手紙とメールでもらったら、手紙の方が少し嬉しく思いま  
せんか? そういふ気持ちも忘れられていくのでしょ?!

日蓮聖人の残された手紙に、こんな一節がありました。

若き夫婦等が夫は女を愛し、女は夫を糸惜む程に  
父母のゆくえを知らず、父母は衣薄<sup>いそ</sup>けれども我は  
閨房<sup>や</sup>熱し。父母は食せざれども我は腹に飽きぬ。  
是れは第一の不孝なれども彼等は失<sup>とが</sup>とも知らず。

若い夫婦はお互い愛し合うあまり、父や母のことは忘れて  
しまう。父母が寒くてお腹を空かせていても、自分達  
は暖かくして、おいしいものを食べている。これは、一番  
の親不孝だが、若い夫婦はそれが罪であることを  
知らない。

「罪であることを知らない」これが問題ではないね。  
強い方に流されてしまい、大切な事に気付かない

くたまってしまふ)…。先程の話と共通する部分がある  
のではたいてい「レ」か?

知らなかつたに事を教えて頂き、気付かなくなつた事に  
気付かせて頂いたのが法華経でした。子ども達も  
大切なものを無くしてしまわないう様、私も精進してい  
きたいと思ひます。

## <6月行事内容>

6月 12日 (木) 10:00 ~ 日蓮大聖人報恩会  
変更せず。

※ 6月22日 (日) 12:30 ~ { 鬼子母尊神  
七面大明神 } 祈禱会  
大古久尊天祈願会

14:00 ~ 進藤上人采山 (法話)

## <住職予定>

6月13日 (金) 師恩会

## <6月の予定>

6月5日 ~ 11日 各々の時間で 清掃・準備活動

6月15日 ~ 21日 " "